

# HARIHATAGOETRAIL

針畠越えトレイル - 若狭から京へ、文化と食が運ばれた交流の道を行く -

# 鯖街道 針畠越え

鯖街道針畠越えトレイルは、若狭と京都を結ぶ古代より続く往来の道です。豊かな自然に恵まれた若狭の国から、鯖街道と呼ばれるようになったこの道を、かつて海産物や塩など豊富な食材が運ばれ、継続的に朝廷に届けられました。御食国若狭からこの道を通り運ばれた新鮮な食材は、朝廷のみならず京の町衆をも大いに満足させ、現在に至る京都の食文化を形成する重要な役割を果たしました。

1500年続く往来の歴史、例えば現在の小浜市に残るお祭りの形態が京都の祇園祭の影響を強く受けている事などからも示されるように、多くの文化往来により相互に独自文化を形成してゆくきっかけとなりました。

この文化が認定され、現在ではこの古道そのものも日本文化遺産にも指定されています。

いくつか存在する鯖街道のうち、京都との間を最も最短距離で結ぶのが針畠越えと呼ばれるルートです。

現在の福井・滋賀・京都、3つの都道府県にまたがり、針畠峠や花背峠を越え終点の出町柳まで続くこの72kmの針畠越えルートは数日間で歩き抜く事が可能です。歴史的に非常に貴重な寺社仏閣を訪ね、山道や林道を抜け、道中でゲストハウスや民宿に泊しながらいくつかの集落を抜け、その移り変わる風景をじっくりと楽しみながら京都の中心部へと到着する魅力的なトレイルルートです。

まずは小浜の町を訪ね、歴史ある三丁町の町家に宿泊しながらその独自文化を形成した歴史や豊かな海産物に寄り添った人々の暮らしにじっくりと触れた後、歴史ロマンを感じながらこの鯖街道針畠越えルートを歩き京都まで戻ってくる、そんな時間を見つけて挑戦してみてはいかがでしょうか。

若狭や道中で出会う風景や人々は、きっと生涯忘ることのできない想い出となるでしょう。





# 4 day Course



八丁平



# Time Schedule

## 1日目

- 10:00 小浜市内スーパーにて食材調達 \*1
- 11:00 いづみ町エリアを出発 \*2
- 12:30 神宮寺 \*3
- 13:00 Watoto でランチ \*4
- 14:00 お水送りの地 鵜の瀬 \*5
- 16:30 上根来集落「与左衛門」到着 \*6

## 2日目

- 09:00 上根来を出発 \*7
- 09:15 登山道入り口到着 \*8
- 10:30 ゴザ岩 \*9
- 11:30 絶景ポイント \*10
- 12:00 お弁当休憩
- 14:30 「HARUYA ゲストハウス」到着 \*11  
小入谷集落散策

## 3日目

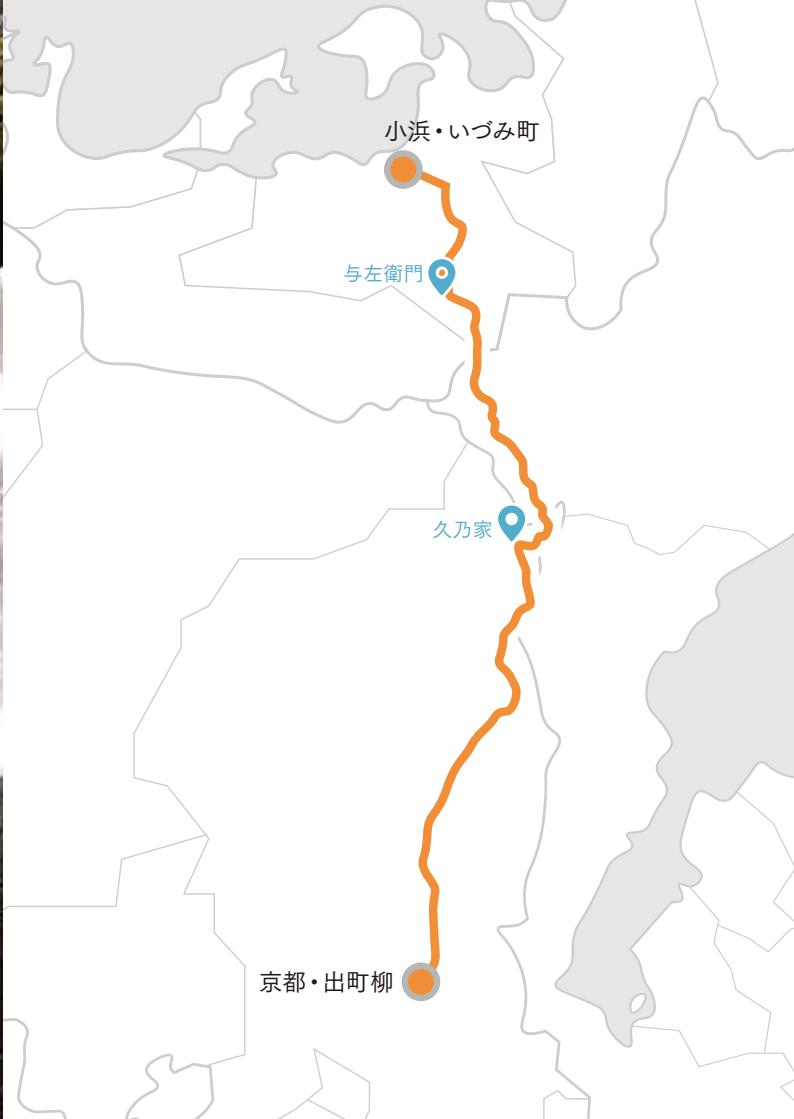
- 10:00 小入谷集落を出発 \*12
- 10:15 大宮神社 \*13
- 11:00 古屋集落 \*14
- 13:00 お弁当休憩
- 15:00 「久多の宿 久乃家」到着 \*15

## 4日目

- 07:30 久多集落を出発 \*16
- 09:30 八丁平 \*17
- 11:30 尾越
- 12:00 お弁当休憩
- 17:00 鞍馬（鞍馬寺）到着 \*18
- 叡山電鉄で接続 \*19
- 出町柳到着 \*20

注意：記載宿泊施設については 2022 年 1 月時点の情報です。トレイル計画時には必ず営業確認を行なってください。

# 3 挑む day Course



# Time Schedule

## 1日目

- 10:00 小浜市内スーパーにて食材調達 \*1
- 11:00 いづみ町エリアを出発 \*2
- 12:30 神宮寺 \*3
- 13:00 Watoto でランチ \*4
- 14:00 お水送りの地 鵜の瀬 \*5
- 16:30 上根来集落「与左衛門」到着 \*6

## 3日目

- 07:30 久多集落を出発 \*16
- 09:30 八丁平 \*17
- 11:30 尾越
- 12:00 お弁当休憩
- 17:00 鞍馬（鞍馬寺）到着 \*18
- ↑ 叡山電鉄で接続 \*19
- 出町柳到着 \*20

## 2日目

- 09:00 上根来を出発 \*7
- 09:15 登山道入り口到着 \*8
- 12:30 小入谷集落 \*12
- 13:00 お弁当休憩
- 14:30 古屋集落 \*14
- 18:00 「久多の宿 久乃家」到着 \*15



# スポット情報

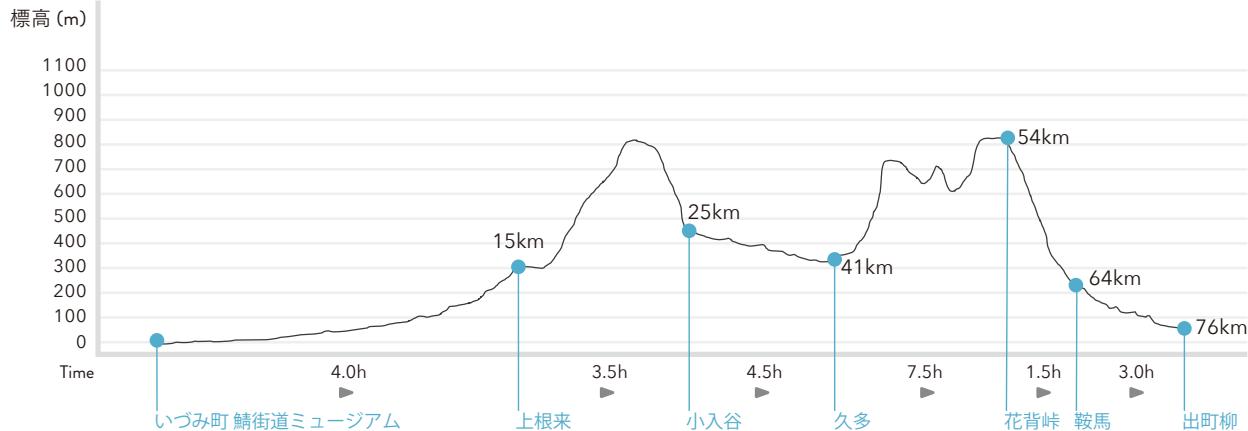


- \*1 **スーパーValor**: 針畑越えルートには食料品などを購入できるお店が無いため、小浜市街でしっかりと準備しておく必要あり。初日の夕食と2日目の朝食・昼食用お弁当を作るための材料や必要品をしっかりと調達してから上根来へ向かおう。
- \*2 **鯖街道ミュージアム**: 鯖街道トレインの起点となるいづみ町にある鯖街道ミュージアム。エントランスには針畑越えトレインのコースをイメージした造形が楽しめる。鯖街道の文化や歴史を学び、ガイドマップなどを入手しよう。
- \*3 **神宮寺**: 西暦714年に創建された由緒ある寺院。奈良・東大寺の二月堂へと水を送る神事「お水送り」は毎年3月2日に行われる。神仏混合の形を色濃く残す本堂は一見の価値あり。重要文化財でもある木造金剛力士像を安置する仁王門（北門）も忘れずに訪れたい。
- \*4 **Watoto**: 上根来へ向かう道中にあるこちらのカフェ、中国医学に基づきながら、かつ入手容易な食材で作ることのできる「ゆる薬膳」ランチと手作りスイーツを楽しめる。人気のお店でいつもお客様で賑わっている。Watotoを過ぎるとその先にお店はないため、定休日等を確認し、必ず予約を入れてから訪れよう。
- \*5 **鵜の瀬**: 1300年続く神宮寺の神事「お水送り」が実際に行われる神聖な場。山の豊かな栄養分を含む美しい水が奈良にたどり着くには約10日を要とされている。名水百選にも選ばれた美しい水が給水場にていただける。水分補給、水筒への給水を忘れずに。
- \*6 **ゲストハウス与左衛門**: 上根来集落を保存する活動を行う上根来プロジェクトメンバーの活動拠点でもある場所で、希望者は宿泊が可能。ただし、要予約。キッチンにはガスコンロなどの基本的な設備は備わってはいるものの完全セルフサービスで、料理も自炊スタイルとなっている。食料等はすべて持参しよう。寝袋やマットレスなどを常備してあるが、希望者には布団を用意してくれるサービスもあり（別料金）。到着したら、夕食と次の日の朝食とお弁当の用意をしよう。
- \*7 **上根来集落を出発する際は、与左衛門を出てアスファルトの道を右へ進もう。** 15分前後で鯖街道登山道入口（石でできた看板による表示あり）へ到着する。
- \*8 **根来坂（針畑越え）登山道入口**: ここからが本格的な山道となり、歴史ある針畑越えルート本来の景色の中を抜けていくこととなる。上根来集落から進むと登山道入口を示す石碑は右手側にあるため見落とさないように注意しよう。
- \*9 **ゴザ岩**: 尾根に一人佇むように位置する巨岩は、ルート途中にある一つのランドマークとなっている。言い伝えによると、若狭彦神の磐座とされる。
- \*10 **絶景ポイント**: 北東に広がる山々と上根来集落が一望できるビューポイント。天気が良い日は若狭湾までもを望むことができる。
- \*11 **HARUYAゲストハウス**: 小入谷にあるオススメのゲストハウス。ホストファミリーの温かさ、季節によっては敷地内を埋め尽くす花々、動物たち、その全てが旅の疲れを癒してくれる。宿泊可能人数、空き状況などは必ず確認の上宿泊予約を行なってから訪れよう。



- \*12 小入谷：滋賀県と福井県の県境にある、タイムスリップしたかのような感覚を覚える非常に美しい村。中央を流れる清流、その両側に点在する家々、静かに暮らす集落の方々のリズムを感じながら、のんびりと散策したい。
- \*13 大宮神社：神秘的な雰囲気を漂わせた森の中に佇む莊厳なこの神社は、小入谷の村人を古くから見守り続けている。美しく苔むす狛犬が印象的。ぜひ参拝をしてから、さらに先へとトレインを進めたい。
- \*14 古屋集落：小入谷集落を抜けてから先、原風景の中しばし曲がりくねった田舎道が続く。点在する小さな山村集落の美しい風景は、古き良き日本の郷愁を残しており、垣間見える伝統的な田舎の生活が印象的。古屋集落には小さな郵便局があるため、自分宛に手紙を書いてみるのも旅のよい思い出作りになるかも。
- \*15 久多の宿久乃屋：日本の伝統的な古民家と暖かい女将さんがお迎えしてくれます。地鶏を使った夕食の鳥すき焼はとにかく絶品。心のこもった美味しいお料理とビールは疲れた体を癒してくれること間違いないし。食事・宿泊は予約が必要。お願いすれば、次の日のためのおにぎりランチを作ってもらえる（別料金）ので忘れずにお願いしよう。
- \*16 久多集落を出発する際は、久多の宿から針畠越えルートに戻るには少し迷ってしまう場合がある。民宿の女将さんに尋ねたり、「久多漁協」もしくは「久多の駅」の方に尋ね、山への入り口をしっかりと確認しよう。山道への入り口は京都市内で葵祭りに使用される真っ白な馬たちが飼育されている久多の里「侍馬会」からさらに少し進んだ先。
- \*17 八丁平：歩いているだけで木々の呼吸に癒される国定公園。特別な環境により保たれている湿原には他の場所では見ることのできない苔類や、多様な動植物が息づく豊かな森。春や秋には多くの人が訪れる。
- \*18 鞍馬（鞍馬寺）：パワースポットとも言われる鞍馬寺。拝観時間は16:15に閉山してしまうため針畠越えトレインの場合には間に合わないかもしれない。どうしても訪れたい場合には鞍馬の旅館に一泊するか、次の日に京都からもう一度電車で訪れるのも良い。
- \*19 叡山電鉄：鞍馬からゴールの出町柳までは歩くとさらに約3時間。鞍馬に到着した時点でもし体力や時間的に余裕がなさそうであれば、鞍馬温泉の露天風呂で頑張った体を癒し、鞍馬駅から出町柳駅までを結ぶローカル電車に乗ることをお勧めする。
- \*20 出町柳（鯖街道終点）：鯖街道の終着地。歴史ある道の終点を示す石碑にタッチし、頑張った自分を褒めてあげたい。もちろんこの日の夕食は鯖寿司！？おつかれさまでした！

# 標高



\* 表記の時間は、休憩時間を除く概算時間。あくまで目安として。

時期：5月初旬 - 10月末

\* 11月から4月にかけては積雪の多い区間もあり、快適なトレイルは困難となる。

## トレイル計画書の提出

人が住む集落や舗装路も歩きますが、古来より続く山道も多い針畳越えトレイル。楽しく歩き、怪我や遭難など事故を回避し、無事に帰宅することが第一優先です。例えガイド無しで踏破する時でも、念のため非常事態への備えもしておきましょう。出発前には、JR小浜駅前にある若狭おばま観光案内所（Tourist Information）にてトレイル計画書を提出しましょう。万一の際に、迅速な救助活動に繋がります。

## 専属ガイド

ルートをよく知る専属ガイドと共に踏破することを強くお勧めします。針畠越えトレイルルートは、いくつもの峠を越え、時に山の中を歩きます。進めば進むほど移り変わる植生、出会う動物達や小さな集落などが目を楽しませてくれます。しかし、道中には別れ道もあり、看板の見落としや勘違いで迷うケースも多く、そのリスクの軽減、給水ポイントや時間配分などルートをよく知るガイドと共に歩く事が最もベストな選択です。

※プライベートガイドツアーのお申し込み先は最終ページをご覧ください。

# 常に留意すべき安全上の注意事項

鯖街道針畠越えトレイルは、数日間で踏破することの可能なルートで、舗装路・山道・林道、また様々な地形や標高など変化ある景色を楽しめます。しかし、そこにはいくつかの安全上のリスクが潜んでいることも良く認識しておきましょう。ここに示された旅の準備に役立ついくつかの重要なヒントと注意事項を厳守し、事故・怪我などの無い安全なトレイルを楽しんでください。

**1.トレイル計画書の提出:** 出発する前に、若狭おばま観光案内所でトレイル計画書を提出してください。案内所にはトレイルマップやガイドブックも用意されており、常駐スタッフによる最新の情報入手も可能です。ぜひお立ち寄りください。

**2.携行品リストの作成:** 出発前には携行品リストを作成し、必要なものがすべて揃っていることを確認してください。すべてのハイカーに携帯することを強くお勧めするアイテムのリストには、給水ボトル(及び予備の水)、予備の食料、地図、コンパス、雨具、丈夫な靴、懐中電灯、救急箱、携帯電話、予備のバッテリーなどが含まれます。

**3. 少なくとも2名以上で:** 悲惨な状況で一人で立ち往生するようなリスクを排除するために、トレイルは原則2名以上としましょう。出発前には仲間と、それぞれのハイキングに対するレベルや緊急時の計画など、想定しうる範囲についてまずは良好話し合う機会を持ちましょう。

**4. 旅程計画を作成し、トレイルに参加しない共通の知人へと共有:** 出発前には、参加者のみなならず、少なくとも1名以上の参加しない知人など全ての人が同意する大まかな計画書を作成してください。出発地・時間・目的地・ルート・予想される終了時間などを共有しておきましょう。時間通りに戻らない場合などの場合、これらは捜索活動の結果に繋がる重要な情報となります。

**5.天候の変化への備え:** 出発前には必ず、可能な限り信頼できる天気予報をチェックし、この時期に最も起こりそうな天気と、その中で安全を保つ方法を調べてください。天気予報が好天を示していても、特に山の天気は急変する可能性があるので、必ず防水・防雨ジャケットを着用してください。天候のわずかな変化でさえ地形への悪影響をもたらす場合が考えられるため、トレイルのリスクが高まる可能性があります。

**6.携行品推奨アイテム全てのハイカーに強くお勧めする携行品リスト:** 携帯電話と予備のバッテリー、応急処置キット、地図、GPS、コンパス、レインウェア、インナーウェア、懐中電灯(もししくはヘッドライト)やランタン、栄養価の高い食料(少なくとも1日分の予備)、水筒(水分)及び非常用携帯浄水器、湯沸かしキット、常備薬、その他

\*このリストはあくまで基本的な物のみであるため、パッキングを行う際には季節やルートなど、ハイキングの状況を念頭に置き十分な準備を整えてください。

## 予防:

**地図:** トレイル上には携帯電話の電波が届かない部分も多いので、必ずトレイルマップ(若狭おばま観光案内所で入手可能)を持参しましょう。スマートフォン、予備の電話バッテリー、場合によってはポケットWi-Fiを利用することもお勧めします。

**こまめな水分補給:** ルート沿いに水分を購入できるような店がないので、こまめな水分補給と水分の常時確保(給水)に心がけてください。清流の水は見た目で綺麗であっても体調を崩す可能性があります。どうしても水分が枯渇した場合には、煮沸してから飲むようにしましょう。

**靴:** 怪我を防ぐため、丈夫で快適なトレッキングシューズを履いてください。

**ルートから逸れない:** トレイルルートから外れると、怪我をしたり道に迷ったりする可能性が高くなります。道に迷ったら振り返り、自分が認識できる場所が見つかるまで歩みをたどってみてください。

**日中に実施:** 夜間は道に迷いやすく非常に危険なので、夜間トレイルはしないでください。

**毒虫などの対策:** スパッタなどを着用したり防虫剤や防ヒルスプレーを準備しましょう。蚊、ダニ、ヒルから身体を保護します。

**野生動物:** 熊鈴を携行し、時には手を叩くなど、人が歩いていることを野生動物へ知らせながら進みましょう。また、ヘビやスズメバチにも十分に注意しましょう。

**雪:** 冬の間、大雪のためルートの一部にアクセスできなくなります。雪が残っている可能性があるため、4月下旬でも出発前の情報収集に努めましょう。

**道路:** ルートの一部は歩道の無い道路となっているため、前方後方からくる車両や自転車に注意してください。

## 警察・消防 (非常時の連絡先)

福井県 小浜警察署: 0770-56-0110

若狭消防署: 0770-53-0119

滋賀県 高島警察署: 0740-22-0110

高島市消防本部: 0740-22-1234

京都府 下鴨警察署: 075-703-0110

左京消防署: 075-723-0119



## トレイルガイドのお申込

お問合せ先：アルファトラベル株式会社  
[sales@alphatravel.co.jp](mailto:sales@alphatravel.co.jp)  
TEL 075-256-8377



WEBSITE  
<https://sabakaido.jp>



PV